

【第1章】

No.	ページ	所属	該当箇所	意見	対応
1	2	委員	(2) 東京都教育ビジョン(第4次)(都)	4年前のビジョンを参考にすることが気になる。 内部的には第5次ビジョンの案が7月6日に示されており、そのうち第5が示される。	引き続き国及び東京都の動向を注視してまいります。
2	2	委員	(3) 東京都教育施策大綱(都)	この大綱を受けて、第5次のビジョンが作成されている。この大綱との整合性を図るのであれば、第4次のビジョンは必要ないと思われる。仮に第5次のビジョンを入れるのであれば、令和3年の大綱は必要ないと思われる。この後にも出てくるが、西東京市総合計画との整合性の方が大切と思われる。そのため、ここに示しておいた方がよいのではないか。	引き続き国及び東京都の動向を注視してまいります。 西東京市総合計画との整合はすでに取れており、P.3(3)他計画との関係において、各計画等との整合を示しております。
3	6	委員	6項目	「地域の大人が自分たちを見守ってくれていると「感じる」割合は増加している。」 中学生のポイントは増加しているが、小学生は2・8ポイントと減少しているため、表現に矛盾が生じている。	文言修正 ・小学生で地域の大人が自分たちを見守ってくれていると「感じる」割合は減少している。【小学生2.8ポイント減少】
4	7	委員	1項目、3行目	主体的・対話的で個性を生かす学びを実現することが必要です。 学校が楽しいのは、自分の居場所が感じられるからではないか。その子の個性を尊重したい。	中央教育審議会 次期教育振興計画答申内、「主体的・対話的で深い学び」の文言に揃えています。
5	7	委員	2項目、2行目	学校体育の授業の内容を充実させるとともに、運動できる場所の確保も求められています。 アンケートからはこのように読み取れる。	文言修正 学校体育の授業の内容を充実させるとともに、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができる場所や機会の確保も求められています。
6	8	委員	1項目、3行目	図書館や公民館において、より専門的な学びにつなげるための学習機会や情報提供を行うなど学びたい環境に公民館も加えたい。	「市民のキャリア形成に資する取組」である「リカレント教育(学び直し)」の推進は、社会教育施設である公民館における学びと質的に異なると考えます。情報提供により個の学習を支援する図書館のみの記述の方がよいと考えます。
7	10	委員	(a)子どもの印象について	・主催行事への参加人数が少なくなってきている。 何への参加か明記したい。	文言修正 ・行事や施設開放への参加人数が少なくなってきている。
8	13	委員	1項目、1行目	■西東京市の公民館は、市民の学びの活動が盛んで、需要が高く、部屋の確保が困難となっています。そのため、他施設の活用が課題であるとともに、指導者を確保していくことが必要です。も視野に入れる必要があります。 アンケートを読む限り、指導者の確保を求めている声が多いとは思えない。共に学ぶ公民館では、指導者という言葉はそぐわない。	文言修正 ■西東京市の公民館は、市民の学びの活動が盛んで、需要が高く、部屋の確保が困難となっています。そのため、他施設の活用が課題であるとともに、指導者を確保していくことが必要です。も視野に入れる必要があります。

【第2章】

No.	ページ	所属	該当箇所	意見	対応
9	18~23	教育企画課	方針名	各方針に、「基本方針」の文言を入れる。	意見の通り文言修正
10	19	委員	2項目、1行目	マルチメディアデイジーの活用として、「まちなか先生」とおして児童・生徒及び教員に周知を図ることで、「まちなか先生をとおす」となっているが、内容は合っている？	文言修正 「まちなか先生」の事業を通じて、
11	24	委員	2項目、1行目	■公民館では多文化の理解の推進に向け、主語を示したい。	文言修正 多文化の理解の推進に向け、公民館では

【第3章】

No.	ページ	所属	該当箇所	意見	対応
12	25	委員	西東京市教育委員会教育目標	これはどのように決定しているのかを明記する必要があると思う。	ご意見をいただきありがとうございます。
13	25	委員	計画の基本方針イメージ図 ウェルビーイングの実現	「次期教育振興基本計画について（答申）」から、ウェルビーイング（身体的、精神的、社会的に完全に満たされた状態）の概念が出てきている。西東京市教育基本計画の基本方針の4つ柱（平成31年度版と変更なし）を目指すことによって、西東京市としてはこの概念の実現を図っていくことを示しておく必要がある。	注釈等で対応します。

【第4章】

No.	ページ	所属	該当箇所	意見	対応
14	30	委員	【現状と課題】 2段落、5行目	「子どもたちにとって楽しい学校、分かりやすい授業を実現するために、教員は・・・」この文脈では、子どもたちにとって楽しい学校は分かりやすい授業を実現すること。となってしまう。 楽しい学校の要素は他にもあるので、例えば、「子どもたちにとって楽しい学校となる重要な要素となる分かりやすい授業を実現するために」ではいかがか。	文言修正 子どもたちにとって楽しい学校となる重要な要素となる分かりやすい授業を実現するために
15	31	委員	【方向性】3行目	「各教科などを通じた言語活動の充実、児童・生徒のコミュニケーション能力や情報活用能力の育成、道徳教育の充実、外国語教育の充実などが掲げられています。」 学習指導要領（総則）で示されている（言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の育成）とある。提案文書は「言語活動の充実」とあるが、言語活動は言語能力を育成するための手段であるので変更した方がよい。また、学習指導要領において、コミュニケーション能力について触れているのは、外国語活動及び外国語のところの「コミュニケーション能力の素地となる」「コミュニケーション能力の基礎となる」のみである。文科省の有識者会議でコミュニケーション能力の重要性はでてきているが、概念規定をし、それを各教科におろしていくのが難しいため、学習指導要領においては外国語等でのみとなっている。「児童・生徒のコミュニケーション能力が掲げられている」とあるが、少し意味合いが違うような気がする。	文言修正 学習指導要領では、知識及び技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵(かん)養に向け、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力等を教科横断的な視点に基づき育成することが掲げられています。
16	32	教育企画課	■外国語教育の充実（ALT）〔教育指導課〕 5行目	そして、小学校及び中学校における指導の接続に留意した指導を行います。→そして、小学校から中学校への指導の接続が円滑に図られるようにしていきます。	文言修正 小学校から中学校への指導の接続が円滑に図られるようにしていきます。
17	32	教育指導課	■多様な人材の活用（学校生活支援員、学年教育アシスタントなど）〔教育指導課〕	学校生活支援員*、学年教育アシスタント*など様々な人材がそれぞれの目的と役割に応じて、学校現場でより適切かつ効果的に支援がなされるよう計画的に進めていきます。 「学年教育アシスタント」はP72「■人的支援の推進」へ移行。 このことにより、事業名から「学年教育アシスタント」を削除。内容中、「学校生活支援員*、学年教育アシスタント*など」を「様々な人材」に修正する。	意見の通り文言修正
18	36	委員	■国際理解教育の推進〔教育指導課〕	総合的な学習の時間等において（中学校社会でも触れられるので）	意見の通り文言修正
19	38	委員	【現状と課題】	「西東京市子ども条例」 この内容について注釈を入れるか、資料として掲載しておいた方がよい。	総合計画等、各種計画の掲載状況に合わせ、現行のままとさせていただきます。
20	39	委員	【方向性】	【方向性】の中に、他課の事業ではあるが、ほっとルームの活用も言及したい。 子どもの人権については、ほっとルームとの協働を模索してほしい。	「ほっとルーム」について言及していませんが、子育て支援課が作成した副読本を使用し授業を行ったり、ほっとルームを周知したり、すでに協働して取り組んでおり、次期計画に関しても協働の方向性については変更はありません。
21	40	委員	■いじめ防止対策の充実〔教育指導課〕	「西東京市いじめ防止対策推進条例」、「西東京市いじめ防止対策推進基本方針」及び「学校いじめ防止基本方針」 このことについて、注釈又は資料として掲載してはいかがか。	総合計画等、各種計画の掲載状況に合わせ、現行のままとさせていただきます。
22	42	委員	■子どもの読書環境整備〔図書館〕	「西東京市子ども読書活動推進計画」 このことについて、注釈又は資料として掲載してはいかがか。	総合計画等、各種計画の掲載状況に合わせ、現行のままとさせていただきます。

23	43	教育指導課	■地域への愛着を深める教育〔教育指導課〕	西東京ふるさと探究学習を中心に、西東京市のよさを再発見する取組を行い、	意見の通り文言修正
24	43	委員	【方向性】 ■地域への愛着を深める教育〔教育指導課〕	「人を育て、社会や地域への貢献」を促進させます。	前半「を削除
25	43	委員	【方向性】 ■地域への愛着を深める教育〔教育指導課〕	「自分にできること」を考え行動できる人育て、社会や地域への貢献を促進させます。「貢献を促進させ」とは、自主的行動よりも強い圧力を感じる。考え行動できる人を育てることは大事だが、そこからはそれぞれの関わり方であるべきでは。第4章P63などの表現との齟齬も感じる。「自分にできること」を考え、それぞれが社会や地域の構成員であることに気づき、参画する意思を育みます。・・・という程度の表現の方が適切だと思う。	前半「を削除 文言修正 「自分にできること」を考え行動できる人を育て、社会や地域への貢献を促進させます。、それぞれが社会や地域の一員であることに気づき、参画する意思を育みます。
26	44	委員	【現状と課題】 1段落、1行目	子どもへのアンケート調査の結果 いつの調査か明記した方がよい。	文言修正 「本計画では、「アンケート調査」と表記します。」と補足の上、「アンケート調査の結果では」に統一
27	44	委員	【現状と課題】 1段落、2行目	学校体育の授業の内容 体育の授業の内容は学習指導要領において定められている。例えば、「 体育の授業をより一層充実させていくことが必要です。 」	文言修正 体育の授業をより一層充実させていくことが必要です。
28	45	委員 教育企画課	■学校2020レガシーを踏まえた教育活動の充実〔教育指導課〕	・学校2020とはどのようなものか。注釈を入れた方がいい。また、学校2020レガシーの成果と課題を明らかにし、その継続又はその充実を図るのかを踏まえる。 ・学校2020レガシーとは何のことか。この先もずっと通用する考え方か。別の語で置き換えられないのか。 ・公的に示されたものであれば注釈を入れる。造語であれば正式名称を入れる。	注釈追加 「学校2020レガシー」 各学校が、共生社会の実現等に向けて、家庭や地域等と連携を図りながら、東京2020大会以降も長く続けていく教育活動
29	47	教育企画課	【現状と課題】	・「次期教育振興基本計画について（答申）」の引用なので、もう少し本市の地域の実情に寄り添った文章にする。 ・6段落「将来の予測が困難な時代」・・・別の言い回しにする。そもそも現状と課題なので、これから計画で取り組む内容は不要？	文言修正 近年、経済的な豊かさのみならず、精神的な豊かさや健康までを含めて幸福や生きがい捉える「ウェルビーイング(Well-being)」の考え方が重視されてきており、本市の子どもワークショップにおいても、子どもたち自身から「豊かな心」を目指そうとする方向性が出されています。
30	47	教育支援課	【現状と課題】 (「不登校」という言葉が最初に出てくるページ)	現在本市では「不登校」と「学校に登校しない・できない児童・生徒」という言葉を併用している。今後、場面によって使い分ける形で併用するため、次期教育計画のなかでそれを説明したい。具体的には、「不登校」が最初に出てくるページに、「学校に登校しない・できない児童・生徒」と「不登校」を同じ意味で併用することの説明書きを加えてほしい。	補足追加 *本計画では、「学校に登校しない・できない児童・生徒」と「不登校」の2語を同じ意味で場面に応じて使い分けています。
31	47	教育企画課	※社会的包括	社会的 包摂 ではないか。	意見の通り文言修正
32	48	教育企画課	■校内支援体制の人的環境整備〔学務課、教育指導課、教育支援課〕	「小学校入学時における支援の充実」の文言を加えてほしい。	現行計画の小学校入学時における…は主に学習支援員の内容を指しています。 令和6年度から、主に小学1年生を対象としていた学習支援員の役割は、全学年を対象とする学校生活支援員の役割に包含され、小学校入学時だけでなく学校生活全般の支援を行います。事業内容も含め、今後調整させていただきます。 ※学校生活支援員は現状、「多様な人材の活用」（基本方針1方向1）に含まれています。
33	49	委員	■教育支援システム*の活用の推進〔教育指導課〕	教育支援システムの解説が長くてとてもわかりにくい。 ※教育支援コーディネーター：各学校の教員で、 関係機関に対する学校の窓口として、また、校内の関係者や福祉、医療などの関係機関との連絡調整の役割を担う 職名のこと。・・・これって実態に合っていますか？ ※個別的教育支援計画：教育支援システムの解説を参照。 ※個別指導計画：教育支援システムの解説を参照。 ・・・これを解説にするのは不親切。せめて各語句の説明に分けたらどうでしょうか。 ↓以下その例： ※教育支援システム：市立学校教員が児童・生徒一人ひとりの「個に応じた支援」を校内で進めていくため、入力・作成できるシステム。児童・生徒の実態把握や校内委員会での検討、外部機関への支援依頼、学校での支援の計画などに必要な様式を一つにまとめたもの。児童・生徒に関する“気づき”を記録する「一覧表」などの書式を効率的に作成することができる。学年進行や転学、進学時などの引継ぎや連携も可能。 ※個別的教育支援計画：“気づき”を基に具体的な支援策を選び、他機関と連携した内容や保護者との相談内容を記録する。 ※個別指導計画：指導や支援のより具体的な内容や期間などを記入する。	文言修正 ※教育支援コーディネーター：各学校の教員で、校内の関係者や外部機関との連絡調整及び保護者に対する学校の窓口として、校内における特別支援教育に関するコーディネーターの役割を担う。 ※教育支援システム：児童・生徒一人ひとりの「個に応じた支援」を校内で進めていくため、市立小・中学校教員が入力・作成・閲覧・共有できる本市独自のシステム。児童・生徒に関する“気づき”を記録する「一覧表」、「個別的教育支援計画」、「個別指導計画」を効率的に作成することができる。 ※個別的教育支援計画：“気づき”を基に具体的な支援策を選び、他機関と連携した内容や保護者との相談内容を記録する書式。 ※個別指導計画：個別的教育支援計画を基に、校内におけるより具体的な指導や支援の内容や期間等を記入する書式。
34	50	教育企画課	■インクルーシブ教育の充実〔学務課、教育指導課〕	障害のある子どもと障害のない障害の有無にかかわらず、すべての子どもができるだけ同じ場で、共にともに学べる学がことができるよう 基礎的環境体制と条件整備と合理的配慮(状況に応じた配慮) を行いますの構築を目指します。また、医療的ケアを必要とする子どもについて、本人や保護者の意思を最大限に尊重し、 必要な 医療の状況に応じ、看護師の配置など必要な支援を行います。	意見の通り文言修正

35	50	教育企画課 委員	■不登校児童・生徒への支援〔教育支援課、教育指導課〕	・他事業に比べ、詳細を記載しすぎているのでは？計画なので、庁内関係部署や関係機関を入れた広域での捉え方のほうが良い。 ・不登校の予兆・・・この語はとてよくないことが起きそうな印象で不適切と感じる。「傾向」「きざし」などでよいのでは？ 「チーム学校」の早期支援には期待するが、地域の関係者（民生委員・児童委員や育成会、家庭開放や放課後子ども教室などに関わる者など）に状況に応じて力を借りることもあるのでは。そうした連携の必要性も入れていただければと思う。コロナ禍で「学校へ行かなくてもいい」という意識の家庭が残念ながら増えた。早い時期の対応なら地域が協力できる場面も考えられると思う。あるいは、逆に長くなっているケースで外へ出ることを最初の目標とするような場合にも地域の関われる場面があると思う。学校の動きが何より大事だが、子どもの側からは先生とは違う立場の大人の関わりが役立つこともあると思う。	・「他事業に比べ～」について 「不登校児童・生徒への支援」については、学校での取組や教員が取り組むことを主としていると認識しています。関係部署や関係機関との連携の視点は関係する他の取組事業等で示しているものと考えていますので、内容を変更する考えはありません。よって現行のままとさせていただきます。 ・文言修正 不登校の予兆がある場合には→ 不登校になりそうな場合には
36	51	教育企画課	■教育支援センター※〔教育支援課〕	また、在籍校や家庭と連携しながら、社会的自立や学校復帰への支援を行います。 「教育支援センター」は場所の名前なので、事業名に「拡充」または「充実」の文言を加える。	文言修正 事業名変更 ■ 教育支援センター※（適応指導教室）の充実 〔教育支援課〕
37	54、55、58	教育企画課	関係機関、就学前機関	それぞれの機関が何を指しているのか。 具体的に説明は必要ないのか。	「関係機関」の前に「子育てや福祉などの」を追記。 ※該当箇所 P.54 ■子ども・保護者への心理的支援及び福祉的支援の充実 さらに、必要に応じて、スクールソーシャルワーカーや 関係機関 などと・・・ ■ヤングケアラー等の家庭環境に起因する問題の相談・支援 スクールソーシャルワーカーなどを活用するとともに、 関係機関 と・・・ P.55 ■適切な情報提供及び関係機関等との連携による子ども・保護者支援（※大見出しの関係機関には挿入せず） さらに、必要に応じ関係機関で・・・ P.58 ■スクールソーシャルワーカーの派遣による福祉的支援の充実 必要に応じて 関係機関 と連携し・・・ 「就学前機関」の前に「 保育園や幼稚園など 」を追記。
38	54	教育企画課	■ヤングケアラー等の家庭環境に起因する問題の相談・支援〔教育支援課〕	■ヤングケアラー等の家庭環境に起因する問題の相談・支援〔教育支援課〕 ヤングケアラーに限らずヤングケアラー、貧困等、子どもの抱える困難は多様化・複雑化しています。 子どもが置かれた環境に働きかけ、適切な相談・支援につなげるために、スクールソーシャルワーカーなどを活用するとともに、 関係機関や庁内関係部署と連携した切れ目ない教育相談体制の充実を図ります。	意見の通り文言修正
39	55	教育企画課	■幼稚園・保育園・小学校間の連携強化による切れ目ない支援体制〔教育指導課、教育支援課〕	教育委員会にとどまらず、庁内関係部署との連携も必要ではないか。現行計画のように、「関係各課との連携により」の文言を追記したほうがよい。	教育支援課修正を反映
40	55	教育支援課	■幼稚園・保育園・小学校間の連携強化による切れ目ない支援体制〔教育指導課、教育支援課〕	■ 切れ目ない支援体制〔教育指導課、教育支援課〕 就学支援シート※の活用や、保育園への臨床心理士などの派遣などを通して、就学前機関との連携により、早期対応や支援の継続を図ります。スタートカリキュラムの充実、 小・中学校及び関係各課との連携により 、就学前から卒業後にわたる切れ目ない支援を充実させます。	事業名変更及び文言修正
41	60	教育指導課	■特別支援学級、特別支援教室における指導・内容の充実〔教育指導課〕	また、指導効果の定期的な振り返りと指導内容の更なる充実に向け 特別支援学校との連携も進めながら 取り組みます。	意見の通り文言修正
42	62	委員	■学校応援団による地域学校協働活動の充実〔社会教育課〕	学校運営協議会を設置した学校、いわゆるコミュニティースクール及び地域学校協働活動（西東京市：学校応援団）は文言として示されているが、地域学校協働本部（社会教育法上、積極的に導入）という文言は示されていない。その方向で考えているということでしょうか。	地域学校協働活動を推進する体制を西東京市では「地域学校協働本部（学校応援団）」としております。
43	64	委員	【方向性】	施設の複合化や有効活用を方向性として示していくだけでは現状の施設の不足などを表せないと思う。特別支援教育の推進を掲げている中に、特性のある児童生徒が学ぶ場の広さや構造化の重要性について、触れていないのでは。学級定員が今後変更になっていく時、通常級の学級数も校舎内で十分確保できるか気になり。少人数指導や特別支援教室などきめ細やかな指導にはその場も確保される必要がある。他の公共施設などと複合化を検討する前に、学校の中で、必要な設備をもっと拡充し、検討する必要があるのでは。	P.78④ 安全・安心で質の高い学校施設の環境整備の取組事業2つめに記載のある、「学校施設個別施設計画」を本計画と並行して策定しております。御指摘いただいた内容については、「学校施設個別施設計画」の中でお示しできる内容が決まってくるので、記載内容については検討させていただきます。
44	64	教育企画課	【方向性】	学校施設個別施策施設計画に基づき、学校教育を進めるために必要な標準的な学校施設を整備し、教育環境の質の向上に努めます。また、安全安心な教育環境の確保とともに、地域との連携や、拠点としての視点から、環境整備を図ります。学校施設の複合化・有効活用を推進します。	意見の通り文言修正
45	64	教育企画課	■学校施設の多機能化・複合化〔教育企画課〕	本市が進める「学校を核とした地域づくり」という視点からも、人口動態などの地域特性や他の公共施設の状況も踏まえ、学校が地域の活動拠点となるよう、障害福祉施設と学校の複合化や他の公共施設との共用化多機能化について検討します。多機能化・複合化・共用化するにあたっては、セキュリティなど学校側の負担にならない管理・運営面について配慮します。	事業名変更及び内容変更

46	65	委員	【現状と課題】 1段落、5行目	「一方、子どもへのアンケート調査の結果では、家での決まりや約束を「ときどき守れない」（平成29年度で51.6%、令和4年度で53.4%）「守れないことがよくある」（平成29年度で7.9%、令和4年度で9.5%）と答える子どもが増加傾向にあり、」令和6年度からの教育計画を策定するのに、調査資料が平成29年度ではなく、もう少し新しいものがない。	文言修正 「子どもへのアンケート調査の結果」→削除、%削除（ほかのアンケート結果と体裁を合わせる。）
47	66	教育企画課	■多世代が交流できる事業の提供〔公民館〕	地域全体で、子育て・親育ちなど家庭での教育力の向上を支えるため、世代を超えた多様な市民がともに学び交流できる事業の充実に努めます。 また、利用団体等と協力し、多世代交流の取組を推進します。	文言修正 地域全体で、子育て・親育ちなど家庭での教育力の向上を支えるため、利用団体等とも協力し、世代を超えた多様な市民がともに学び交流できる事業の充実に努めます。
48	66	教育企画課	■地域における子育て支援環境づくり〔社会教育課〕	公民館で保育付参加を始めたこともここに含まれるのでは？ せっかく実施しているのに、ここで掲載しなくて良いのか。	公民館は、育児期の女性の学ぶ権利を保障するとともに、孤立しがちな育児期の母と子が社会的存在として他者とのかわりの中で成長することを保障することを主な目的として、保育付き講座や学習支援保育を実施しています。結果として子育て支援にもなりますが、それは副次的なことであり、保育付き講座や学習支援保育については他の項目で取り上げているので、現行のままとさせていただきます。
49	67	委員	■放課後子供教室〔社会教育課〕	運営体制の検討と共に市内全小学校実施を目指したい。	ご意見をいただきありがとうございました。
50	67	教育指導課	■部活動の地域連携〔教育指導課〕	■部活動の地域連携・地域移行〔教育指導課〕 「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方などに関する総合的なガイドライン」に基づいた適切な部活動の運営を行います。また、国や東京都の動向を踏まえ、地域の実状実情に応じた、休日の運動部活動の段階的な地域連携・地域移行を進めます。	「地域連携」「地域移行」、どちらについても検討の必要があるため、併記します。 文言修正 また、国や東京都の動向を踏まえ、地域の実状実情に応じた、休日の運動部活動の段階的な地域連携・地域移行を進めます。
51	70	委員	【現状と課題】 2段落、1行目	市民へのアンケート調査の結果 いつの調査なのかを明記した方がいい。	文言修正 「アンケート調査の結果では」に統一
52	72	教育指導課 教育企画課	■人的支援の推進（学年教育アシスタントなど）〔教育指導課〕	本文中の「専門家など」を、「学年教育アシスタントなどを配置するなど」に修正 学年教育アシスタントの語句説明の修正 ※学年教育アシスタント：小学校の第1学年から第3学年までについて、授業の質の向上、教員の負担軽減等を図るために配置する副担任相当の業務を担う会計年度任用職員 P32「■多様な人材の活用」に記載のある「学年教育アシスタント」をP72「■人的支援の推進」へ移行。 理由：「学年教育アシスタント」の事業目的に、教員の負担軽減等があるため。	事業名及び文言修正 ■働き方改革における人的支援の推進（学年教育アシスタントなど）〔教育指導課〕 ～その資質を高めることができるよう、教員の負担軽減等を図るため、学年教育アシスタントを配置するなど専門家などの人的支援の推進を図ります。 （教育企画課）・事業名に「働き方改革における」を追加、・内容に「教員の負担軽減等を図るため、」を追加。
53	72	委員	■人的支援の推進〔教育指導課〕	専門家や補助員などの追加してほしい。	教育指導課、教育企画課修正を反映します。
54	83	委員	■あらゆる世代の自主的な学びを支援するための学習の場の提供〔公民館〕	あらゆる世代の学びを支え住民同士がつながりあう機会を提供し、地域づくり、人づくりを行います。	事業内容が、P.82、P.89及びP.95と重複しますので、現行のままとさせていただきます。
55	88	委員	【現状と課題】 4段落	今後は、公民館や図書館事業などに関する、今後は情報提供の方法などを工夫していくことが必要です。	意見の通り文言修正
56	90	委員	■西東京市縁の人物の著作や関連資料・情報の収集と発信〔図書館〕	縁の人物・・・「ゆかり」と読み仮名をふる、解説を付ける（図書館が持っている重要な地域資料の一端をこの計画でも広報すべき）	ご意見をいただきありがとうございました。 読み仮名を振ります。